

暦の上では立夏を迎え、爽やかな初夏を思わせる日もあれば、汗ばむほどの夏日もあるこの頃ですが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

先月、私は千葉の幕張メッセで開催された「スターウォーズ・セレブレーション」というイベントに行っていました。このイベントは、映画『スターウォーズ』のファンが世界中から集まる最大級の公式イベントで、日本での開催は 2008 年以来、実に 17 年ぶりとのこと。ファンにとってはまさに、「行くしかない」イベントといえます。会場では、豪華俳優陣によるトークショーやファンによるグッズ販売などが行われており、まさに“銀河規模”の祭典でした。なかでも特に印象的だったのが、来場者たちのコスプレです。

あちらにジェダイ、こちらにシス、ダース・ベイダーが飲み物を買っていたりして、「ああスターウォーズの世界だ」と終始胸が高鳴る思いでした。映画さながらの精巧な装備を再現している方もいれば、段ボールや布を使って、手作り感あふれるスタイルを披露している方も。完成度の高いコスチュームには圧倒されますが、少し崩れているように見えるものにも努力や工夫が感じられ、どこか心惹かれる温かさがありました。

スターウォーズファンの間には「SWAG(スワッグ)」という文化があります。ファン同士が自作の小さなグッズを持ち寄り交換するというもので、缶バッジやステッカーなど個性豊かなものばかりです。我が家もそれに倣い、フェルトで作ったキャラクターのバッジをいくつか持参しました。T シャツにバッジを着けていると「Cool ! (クール)」「Cute! (キュート)」と声をかけていただき、交換が生まれることも。国境を越えたファン同士が自然に繋がるその瞬間に、なんだかホッコリしました。

その時感じたのが、手作りのものにはやはり特別な力がある、ということ。完璧でなくても、少し歪んでいたたり不揃いだったりしても、それすらも「味」として愛おしく感じられる。そんな手作りの存在が、人と人を自然につなげてくれる。誰かの手が加わったというだけで、そこに温もりが宿るように思われました。作っている最中のワクワク感や、完成した時の達成感、そして「自分で作れた」というちょっとした誇らしさ。モノとして残る以上に、体験として心に残ること——それこそが、手作りの魅力なのだと感じました。

ちなみに、交換するのがちょっと惜しくなり持ち帰ったフェルトのキャラクターたちは、まだスターウォーズを観たことのない2歳の息子の通園バッグに、そっと寄り添っています。

さて、今回のお知らせでは新たな季節を迎えるこの時に、ぜひ作って楽しんでもらいたい新製品をご案内しております。明るくパワーに溢れた季節の絵柄や、縁起物。大切な方の健やかな日々を願って贈ったり、お仲間と楽しく作ったりと、様々にご活用いただけます。

また、2026 年えとシリーズも第 2 弾が登場しました。華やかで賑やかな干支飾りの数々を企画しましたので、ぜひご覧ください。

日々の生活の中で、夢中になって作る心安らぐ時間にぜひさくらほりきりのクラフトキットをお役立てください。(山)

